



夢をもち 自ら動き たくましく生活する 児童の育成

校長だより(保護者の皆様)



呉市立音戸小学校 校長 中外 智子 令和7年9月2日 第6号

□実りの秋に向けて 2学期もよろしく願いいたします

9月を迎えましたが、まだまだ暑い日が続いています。それでも、子どもたちは元気いっぱいに登校し、友達や先生との再会を喜ぶ姿がたくさん見られました。

2学期は、学習や行事を通して子どもたちが大きく成長する大切な時期です。子どもたちが安心して笑顔で過ごし、自分の力を伸ばしていけるよう、教職員みんなで温かく支えてまいります。

保護者や地域の皆様におかれましても、これからも子どもたちを見守り、励ましていただけますよう、よろしくお願いいたします。

9月1日の始業式では、次のようなことを子ども達に話しました。



□「あいさつは、仲よくなれる言葉、まほうの言葉」

今日から2学期が始まります。

この夏休み、音戸小学校の全員が、大きなけがや事故もなく、元気に登校してくれて、とても嬉しく思います。

1学期の終業式にみなさんをお願いしましたが、「夏休みにがんばったこと、挑戦したこと」を1つ書いてください。夏休み作品展にかざりますね。('夏休み作品展'会場に掲示しています。ぜひご覧ください。)

さて、2学期、みなさんに特にがんばってほしいことが1つあります。

それは——「あいさつ」です。

8月21日に、みなさんに「どんなあいさつがありますか」とアンケートをとりました。全部で315こものあいさつを書いてくれていました。多かったあいさつは「おはよう」「ありがとう」「さようなら」「ただいま」でした。

また、「あいさつは、どうして大切ですか」のアンケートでは、全員が自分の考えをしっかりと書いてくれていました。「先生やおうちの人にほめられるから…」は一人もいませんでした。

多かったのが、「あいさつをすると、相手の人が嬉しい気持ちになるから」です。41人もの人が書いていました。さすが音戸っ子です。

さらに驚いたのですが、このように書いている人がいました。「あいさつをすると、自分も相手も嬉しい気持ちになるから」です。12人も書いていました。すてきな考えですね。

そして、このような言葉も見つけました。「あいさつは、なかよくなれる言葉です。」4年生の人が書いてくれました。私はとても感激しました。

あいさつは、とても短い言葉です。それなのに、不思議です。相手も、自分も嬉しくなります。私もあいさつは、「なかよくなれる言葉」「まほうの言葉」だと思っています。

あいさつをすると、「あなたを大切に思っていますよ。」というメッセージが伝わります。

2学期は音戸小学校全員で「自分からあいさつすること」「先手あいさつ」をがんばりましょう。

あいさつのポイントは3つです。

- ① 相手の目を見ること
- ② はっきりとした声で言うこと
- ③ ちょっと大きめの声で言うこと。

みなさんの「先手あいさつ」は学校や地域をもっと元気にしてくれます。

音戸小学校が「挨拶のすてきな学校」と言われるように、みんなで力を合わせていきましょう。

おはようございます!!



音戸小学校では、2学期「あいさつ」に力を入れていきたいと考えています。

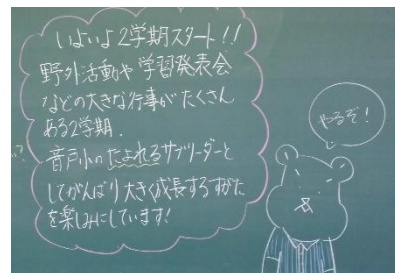
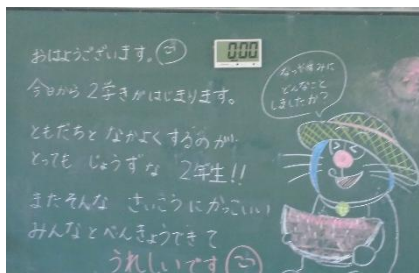
あいさつは、人と人とのつながりを温かくする大切な第一歩です。子どもたちが自分から元気にあいさつできるよう、学校全体で取り組んでまいります。

ご家庭でも、朝の「おはよう」や帰宅時の「ただいま」「おかえりなさい」といった言葉を交わすことで、子どもたちのあいさつが自然に育っていきます。

保護者の皆様にも、登下校や地域で出会った際に、ぜひ子どもたちに声をかけていただき、あいさつの輪を広げていただければと思います。

□9月1日の教室では…

各教室をまわって、子ども達の様子を撮影しました。どのクラスも、やる気と笑顔がいっぱいでした。黒板には子ども達に、担任からのメッセージが書いてありました。



1年生



そよかぜ学級



2年生



あおぞら学級 3年生



4年生



5年生



ひまわり学級



6年生

昨日、子ども達一人一人の思いや気持ちを大切にするため、アンケートを実施し、その結果をもとに個別にお話をする機会を設けています。

また、ご家庭でも気になる様子や心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。小さな不安でも、早めに共有していただくことで、子どもたちと一緒に支えていくことができます。どうぞよろしくお願いいたします。